

おふねをこいで♪
おともだちと
いっしょ★



この音はなんだろう？

子どもたちがイメージしやすい「さんぽ」を弾き、「音に合わせて歩いてみよう」と誘いかけると、保育者の姿を模倣し、歩く姿が見られた。また、『かえるのうた』に合わせてカエルジャンプをしたり、低音の半音階でヘビ（うつ伏せのまま腕の力で前進する）を取り入れた際も、保育者の模倣をして体を動かしていた。

へび～



振り返り・気づき

・保護者と一緒に作りあげることを楽しんでいた。家庭より、家に持ち帰ってからタンバリンで遊んでいるとの報告が多かったことから、自分自身の力で成し遂げたことへの喜びがとても大きかったのだと感じた。また、それを大好きな保護者と一緒に行ったことが、より思いを満たしたのだと思った。

・リトミック活動を毎週取り入れているので、音楽に対する反応が速く、一定のリズムで叩くことができるようになってきた。

音楽活動・リトミック活動

歌絵本や手遊び歌、ダンスが大好きな子どもたちが、もっと音楽を楽しめるように様々な音楽活動を取り入れたいと思った。

12月

【タンバリンを作ろう】

子どもの姿と保育者のねがい

・様々な音楽活動を楽しむ中で、楽器を鳴らすことにも興味をもっていった。ある日、園庭で登り棒を叩いて音を鳴らすことを楽しんでいる姿が見られた。その姿から、「自ら音を作り出すことを楽しむ」という活動を取り入れたいと考えた。

環境・用意した物

新しいダンスの曲

・様々な表現方法を体験するために新しいダンスの曲を準備した。

音符、休符、アーティキュレーションの導入

・四分音符、八分音符、二分音符、休符

楽器

・タンバリン、鈴、マラカス

タンバリン
つくったよ

当日は
真剣な表情で
作っていました



きれいな
おとがする

南馬込
第二保育園
1歳児クラス